

ISO 21570:2005 正誤票 1:2006 追補 1:2013

Foodstuffs – Methods of analysis for the detection of genetically modified organisms and derived products – Quantitative nucleic acid based methods

食品 – 遺伝子組み換え体及び由来製品の検出のための分析法 – 核酸に基づく定量法

1. 規格の概要

目的とする遺伝子の相対量を測定する定量分析法に係るガイドライン、結果の解釈等が規定されており、附属書には具体的な分析法として、遺伝子組換え体に特有な構成遺伝子及び系統を定量する方法等が収録されている。なお、正誤票は ISO/TC34 の所管であるが、規格本体及び追補は ISO/TC34/SC16（分子生物指標の分析に係る横断的手法分科委員会）の所管である。

2. 発行状況等

2000年7月に新業務項目提案が承認され、2005年11月に初版が発行された。

その後、2006年12月に正誤票1が、2013年4月に追補1がそれぞれ発行された。

3. 規格の構成（仮訳）

まえがき

序文

1 適用範囲

2 引用規格

3 用語及び定義

4 原則

4.1 一般

4.2 PCR産物の増幅、検出及び確認

4.3 PCR産物の定量

5 試薬

6 器具及び設備

7 手順に関するガイドライン

7.1 一般

7.2 ターゲットシーケンスの信頼性

7.3 分析の校正

7.4 結果の定量

7.5 品質保証の要求事項

8 解釈

9 結果の式

10 試験報告

附属書A (参考) ターゲット分類群特異的法

附属書B (参考) スクリーニング法

附属書C (参考) コンストラクト特異的法

附属書D (参考) イベント特異的法

参考文献